

**新教育委員に 中山 義和さんが就任いたしました**

「ムイドゥヌサリ、フイドゥウブン」

与論町教育委員会 教育委員 中山 義和

これまで35年間、与論町立与論中学校の期限付教諭から始まり、鹿児島市立名山小学校で定年退職するまで、小学校・中学校・教育行政(社会体育・社会教育・学校教育)と11か所で小学生から高齢者まで様々な教育分野に携わってきました。

島外の高校に願書を出していた折に、「高校まではお願いだから島に残ってくれ」とのアンマーの願いを受け止め、与論高校を卒業後、教師になりたいという夢を抱き、東京の大学へ進学しました。中学校の英語教師に4度チャレンジしましたが結果が出ず、それまでに民間企業(3年間)で働きながら小学校免許状を取得し、5回目の挑戦で正式に小学校教諭として鹿児島県の教員に採用されました。

あれから34年、ずっと自分の教育の原点は「与論の教育」にありました。それは、これまでの県内各地で貴重な経験をさせてもらったのは、自分を生み育ててくれた島の教育のお陰だと感じていたからです。幸いにして4年間、母校の与論中学校で再度勤務させていただき、その間3人の我が子も自分の母校(与論小・与論中・与論高校)で学び、島の皆さんに支えられながら卒業することができました。

「ムイドゥヌサリ、フイドゥウブン」という島の素晴らしい格言のごとく、「しっかりとしたブレない夢を持ち、その夢に向かって諦めないで一生懸命努力し、必ず自分の夢を実現できる」島の子どもたちの育成に向けて、これまでの経験を生かし教育委員として全力で頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

**教育委員会活動報告**

定例会 4月5日 (水) 開催

- ・ 令和5・6年度与論町文化財保護審査会委員について
- ・ 令和5・6年度与論城跡発掘調査指導委員会委員について
- ・ 『誠風第309号』の発行について
- ・ 和泊町立学校における学校運営協議会に関する規則について
- ・ 与論町立那間小学校の建て替えについて

定例会 5月10日 (水) 開催

- ・ 令和5年度与論町立学校給食センター運営委員の委嘱について
- ・ 学校評議員の推薦について
- ・ 令和5・6年度与論町社会教育委員・公民館運営審議会委員について
- ・ 区域外就学について

定例会 6月7日 (水) 開催

- ・ 与論町立B&G海洋センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- ・ ふるさと納税寄付金使用事業計画書について
- ・ 与論町学校給食物資等価格高騰対策支援事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱について
- ・ 学校評議員の推薦について
- ・ 那間小学校建設についての方針案について

人事異動

- 学務課課長補佐兼給食センター所長
裾分 大喜 (前：中央公民館長)
- 生涯学習課長補佐兼中央公民館長
林 健太郎 (前：生涯学習課長補佐)
- 生涯学習課
町 公代 (会計年度任用職員)

よろしく願います

**主な行事予定**

- 7月20日 1学期終業式
- 7月22日 小学校水泳記録会
- 7月24日 国体炬火リレー(与論町)
- 7月27日 教職員「ゆんぬ学」研修①
- 8月1日 出校日①
- 8月2日 定例教育委員会
- 8月14日 ~ 学校閉庁日 (8月16日まで)
- 8月21日 出校日②
- 8月25日 教職員「ゆんぬ学」研修②
- 8月27日 国体・デモンストラーションスポーツ 史跡めぐりウォーキング(城跡)
- 9月1日 2学期始業式

「令和4年度 鹿児島学習定着度調査」の与論町の結果をお知らせします。

今年1月17日（火）・18日（水）に行われた鹿児島学習定着度調査の結果の概要をお知らせします。

この調査は、学習指導要領において身に付けることが求められている「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」の定着の状況を明らかにするために、鹿児島県の全ての小学5年生、中学1・2年生を対象に毎年実施されているものです。

1 教科調査の結果について

与論町の児童生徒の通過率(%)は以下のとおりです。大島地区の平均や鹿児島県全体の平均も示しましたので、あわせて御覧ください。

【昨年度小学校5年生（現小6）】

	国語	社会	算数	理科
与論町	78.5	87.3	74.5	75.8
大島地区	72.3	80.3	69.6	72.6
鹿児島県	70.9	77.5	67.4	71.7



【昨年度中学1年生（現中2）】

	国語	社会	数学	理科	英語
与論町	70.8	77.1	80.0	60.4	78.6
大島地区	70.3	68.3	71.1	63.3	76.0
鹿児島県	70.4	68.4	70.9	63.2	75.7

【昨年度中学2年生（現中3）】

	国語	社会	数学	理科	英語
与論町	69.8	60.5	76.3	63.6	72.0
大島地区	68.2	54.6	71.0	60.6	65.4
鹿児島県	71.0	55.2	72.5	62.5	67.8

上の表のように、現・小学校6年生の児童の学力は、各小学校における学力向上の取組が実り、昨年度に引き続き、全ての教科において地区と県平均の両方を上回る大変よい結果となっています。


現・中学校2、3年生の生徒についても、全ての教科において、両学年あるいはどちらかの学年で地区と県平均の両方を上回っており、生徒の学力の更なる向上と学習習慣の一層の定着を目指した与論中の取組が功を奏した形となっています。

与論町の児童生徒に確かな学力を身に付けさせるための先生方の日々の取組に感謝いたします。各御家庭におかれましても、お子様の基礎学力の定着を目指して、引き続き、学校の先生方との連携を続けていただきますようお願いいたします。

2 児童生徒質問紙の結果について

さて、鹿児島学習定着度調査では児童生徒質問紙も実施され、子供たちは、学習に関する意識や学び方等について回答しました。

各教科の調査ではとてもよい結果を出すことができた与論町の子供たちですが、自己肯定感や挑戦心、学びに向かう姿勢などの見えにくい力については、少なからず課題があるようです。子供たちの回答を見てみましょう。

	現小6		現中2・中3	
	与論町	県平均	与論町	県平均
自分には、よいところがあると思う。	20.0	36.0	19.8	28.8
自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。	32.0	46.0	31.9	42.0
難しいことでも、失敗を恐れず挑戦している。	24.0	35.2	9.9	25.3
家で計画を立てて勉強している。	22.0	30.1	14.3	17.3
勉強のやり方が、自分に合っているか考えながら勉強している。	22.0	35.4	20.9	26.9

※ 単位は「%」。25問の質問項目のうち、県平均との差が顕著だったものを抜粋しています。

3 保護者・地域の皆様へ

左の表に示した「教科調査の結果の高さ」は、児童生徒のがんばり・先生方の御尽力・御家庭の御協力の成果であり、大変喜ばしいことです。その一方で、この子供たちが進学後や島だち後の社会でも主体的に学び続けながら自らを高めていくためには、学校・家庭・地域が連携して、上の表で示したような見えにくい力の育成に取り組む必要があると考えています。

各学校では、教育活動の様々な場面でそれらの力の育成に取り組んでいます。教育委員会も、町内全ての小・中学校で始めた「海洋教育科『ゆんぬ学』」を、見えにくい力の育成の具体的方策としていところす。御家庭でも、ぜひ、お子様の「学力」を、テストの点数に代表されるような見えやすい力と、上の表のような見えにくい力とに分けてとらえていただき、双方をバランスよく育てようような声掛けをしてくださいますようお願いいたします。

